



服用前にこの説明書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう保管してください。

胃の痛み・胸やけ・もたれ・むかつきに

# アバロンZ

第1類医薬品  
〈胃腸薬〉

- ① 3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談してください
- ② 2週間を超えて続けて服用しないでください(重篤な消化器疾患を見逃すおそれがありますので、医師の診療を受けてください)



## 使用上の注意



### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

#### ① 次の人は服用しないでください

- (1) ラニチジン塩酸塩等のH<sub>2</sub>ブロッカー薬によりアレルギー症状(例えば、発疹・発赤、かゆみ、のど・まぶた・口唇等のはれ)を起こしたことがある人。
- (2) 医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人。

血液の病気、腎臓・肝臓の病気、胃・十二指腸の病気、ぜんそく・リウマチ等の免疫系の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤(白血球減少、血小板減少等を起こすことがあります)(腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて作用が強くあらわれることがあります)

- (3) 医師から赤血球数が少ない(貧血)、血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人。(本剤を服用するとさらに血球数等が減少する場合があります)
- (4) 小児(15才未満)及び高齢者(80才以上)。
- (5) 妊婦又は妊娠していると思われる婦人並びに授乳婦。

#### ② 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください 他の胃腸薬



## 相談すること



#### ① 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人又は他の医薬品を服用している人。
- (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (3) 高齢者(65才以上)。(一般に高齢者は、生理機能が低下していることがあります)
- (4) 次の症状のある人。

のどの痛み、せき及び高熱  
(これらの症状のある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数減少等の血液異常が認められることがあります。服用前にこのような症状があると、本剤の服用によって症状が増悪し、また本剤の副作用に気づくのが遅れることがあります)  
原因不明の体重減少、持続性の腹痛  
(他の病気が原因であることがあります)

#### ② 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、のど・まぶた・口唇等のはれ
循環器	脈のみだれ
消化器	吐き気
精神神経系	頭痛、めまい、気がとおくなる感じ、ひきつけ(けいれん)
その他	筋肉痛、関節痛

まれに右記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる(歯茎の出血、鼻血等)、青あざができる(押しても色が消えない)等があらわれる。
横紋筋融解症	手足・肩・腰等の筋肉が痛む、手足がしびれる、力が入らない、こわばる、全身がだるい、赤褐色尿等があらわれる。

- ③ 誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合は、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください
- ④ 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください  
便秘、下痢

## 効 能

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき  
(本剤はH<sub>2</sub>プロツカー薬を  
含んでいます)



[注意] 効能に記載以外の症状では、本剤を服用しないでください。

## 用法・用量

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつきの症状があらわれた時、下記の1回の量を、水又はお湯で服用してください。

年 齢	1回量	服用回数
成人(15才以上、80才未満)	2錠	1日2回まで
小児(15才未満)	服用しないこと	
高齢者(80才以上)		

- 服用後5時間以上たっても症状が治まらない場合は、もう2錠服用してください。ただし、1日2回(4錠)を超えて服用しないでください。
- 症状が治まった場合は、服用を止めてください。
- 3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談してください。
- 2週間を超えて続けて服用しないでください。

- [注意] (1)定められた用法・用量を厳守してください。  
(2)本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取はひかえてください。  
(3)錠剤の取り出し方

(錠剤の取り出し方)



図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押しつけて裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)

## 成 分

1回分2錠中

成 分	分 量	はたらき
ラニチジン塩酸塩	63mg	ヒスタミンH <sub>2</sub> 受容体に拮抗し、胃酸分泌をおさえます。
ケイ酸アルミン酸マグネシウム	250mg	3種の制酸剤の組み合わせにより、胃内に分泌された胃酸を中和します。
酸化マグネシウム	100mg	
水酸化アルミナマグネシウム	200mg	

添加物：クロスカルメロースNa、セルロース、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、トリアセチン、酸化チタン

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4)外箱に表示の使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



この製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

連絡先 **大正製薬株式会社 お客様119番室**  
電話 **03-3985-1800**  
受付時間 **8:30~21:00(土、日、祝日を除く)**

製造販売元



**大正製薬株式会社**  
東京都豊島区高田3丁目24番1号  
<http://www.taisho.co.jp>

提携 **グラクソ・スミスクライン社**

## 副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
電話：0120-149-931(フリーダイヤル)